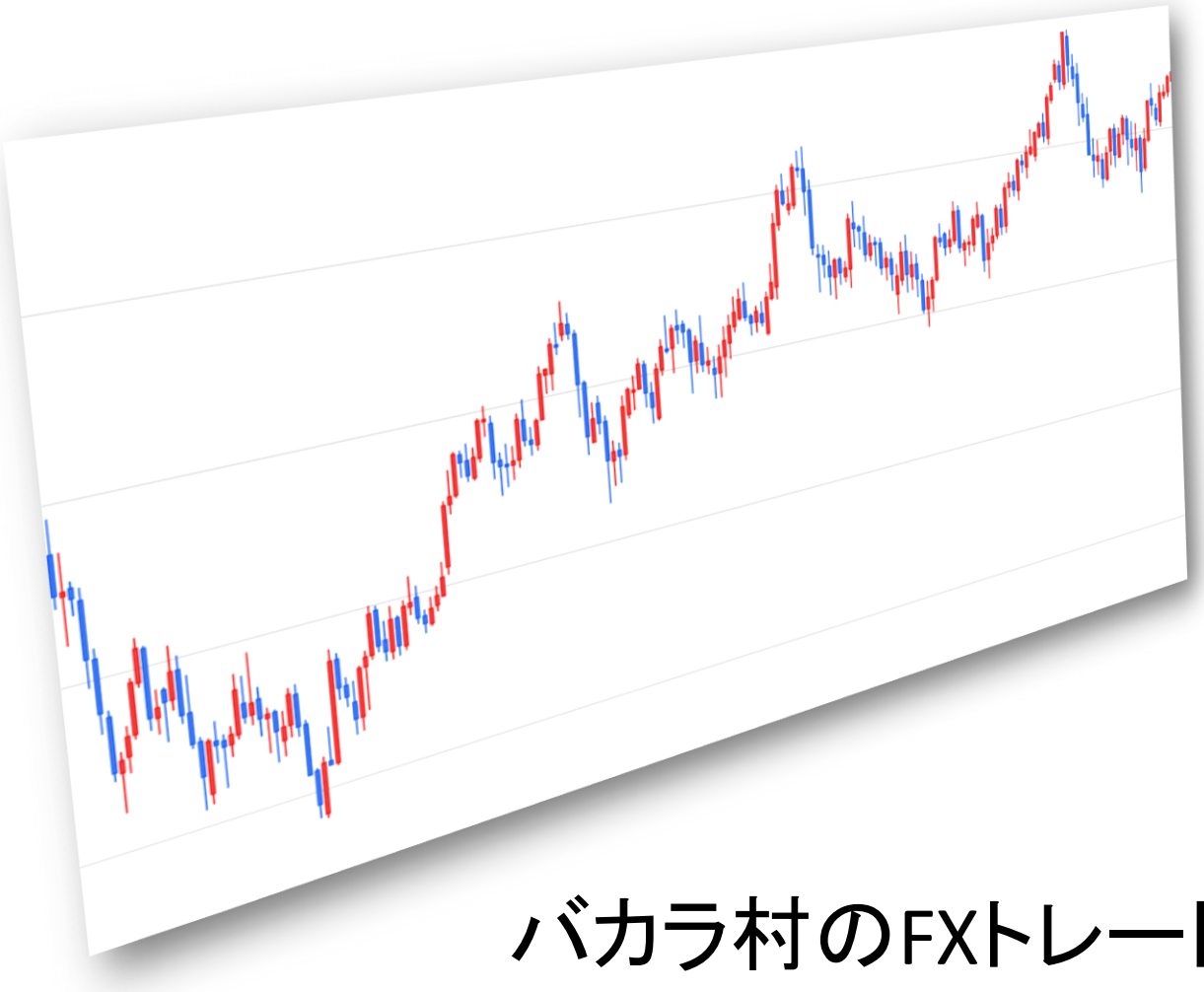

バカラ村のFXトレード手法

バカラ村

2019年1月12日

MACD

MACDの使い方

- シグナル線とMACDのクロス
- ゼロラインとMACDのクロス
- ダイバージェンス
- 限界値

MACDの限界

- ドル円

日足　1.08

⇒異常値2.44、アベノミクス相場やトランプ氏当選

4時間足　0.50　（通常の行き過ぎ0.31）

- ユーロドル

日足　0.0138

4時間足　0.004

ドル円の4時間足　0.55で下げ止まり

トランプ氏が大統領選に勝利したとき

限界値となったときの対応

- トレンドの材料が出ても、飛び乗らない
- 状況次第で逆張り
- 大きな時間軸のトレンドに対して、短い時間軸で反対方向に限界値が出ると、押し目買い・戻り売りがしやすい（例えば、日足で上昇トレンド時に、1時間足でMACDが下がり過ぎの限界まできていれば、買いエントリー）

限界値後の考え方

- MACDの限界値の半分程度まで戻ってからトレンドに戻ることが多い
- 大きな材料が出たときは、限界値を超えて、異常値が出ることがある（日銀の実弾介入やアベノミクス相場やトランプ氏の当選など）。異常値が出ているときは、必ずその材料がニュースとなっている。
- 限界値を超えてトレンドが続いているときは、その後にダイバージェンスとなって、反転の可能性が高まる

ドル円の4時間足　0.55まで推移

ドル円　日足

2018/02/19
115.000
112.500
110.000
107.500
105.000
MACD:
MACD[12-26] -1.1679
シグナル[9] -0.9593
0.0000
-0.5000
-1.1854
108-114円を中心とした
レンジを下抜ける
約1年間の揉み合いが抜ける
レンジを下抜けても、MACDは限界値
まで来ているため、下げが続かない

ユーロドルの4時間足

追いかけて買うと高値で掴む可能性がある
2018/09/21 12:00
1.18000
1.17000
1.16000
1.15000
0.0032まで上昇し、限界
MACD:
MACD[12-26] 0.003117
0.003183
0.002500
0.000000
-0.002500

ユーロドルの日足を確認すると

ユーロドル4時間足

2018/11/13 08:00
1.16000
1.15000
1.14000
1.13000
1.12000
1.13ドルのサポートを下抜け、まだまだ下がるように思うがMACDは限界
MACD:
MACD[12-26
0.002500
0.000000
-0.002500
-0.004476

ドル円　日足

115.000
112.500
110.000
107.500
105.000
102.500
新：2019/01/03 00:00:00 始値:108.808 高値:108.879 安値:104.297 終値:107.596
MACD:
MACD[12-26]
シグナル[9]
0.0000
-1.0936

＜リスク開示＞

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合もあります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

＜注意喚起＞

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生の可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社
業務内容：第一種金融商品取引業
登録番号：近畿財務局長（金商）第41号
加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562